

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品製造業

1. <福島県 食品団地 >  
新型コロナウイルスの感染者数増加と緊急事態宣言により年始のイベント等が自粛され、厳しい状況が続いている。今後も続く見込みであり、消費動向と社会変化に対し各企業においても対応検討中である。
2. <富山県 豆腐製造業 >  
大雪の影響で配達が出来ず、消費期限があるため廃棄せざるを得なかった。また、大雪による休校が続く、学校からの連絡が間に合わず、原材料を廃棄することとなり、売上が減少した。
3. <岐阜県 食肉（国産） >  
先が見えない状況が続いており、廃業への不安も感じている。店舗での販売は何とか健闘しているが、時短営業の影響を受け、飲食店への販売については大幅に減少している。
4. <大阪府 製麺製造業 >  
コロナ禍で飲食業界の下落は収まらず危機的状況である。休業続きの小さな店舗と取引する納品業者は不良在庫を抱え採算が取れないため、廃業をせざるを得ないところも出ている。
5. <長崎県 麺類 >  
長崎県の緊急事態宣言で飲食店の営業時間が繰り上げになり、納品が大きく落ち込んだ。観光関連のホテル、土産の売上も大きく落ち込んだ。□
6. <沖縄県 パン製造業 >  
GoToトラベルの一時停止に続き、1月20日から県緊急事態宣言も発出され、2月末までの延長も決まり、コンビニエンスストアの利用も減った状態が継続し、改善の兆しはまだみえない。

#### 繊維・同製品製造業

7. <秋田県 繊維 >  
厚生労働省からの依頼で医療用ガウンを製造し、かろうじて生産ラインを稼働させている状況である。ただし、価格は公募により値崩れしており、採算が取れない状況にある。
8. <山形県 織物製成人女子・少女服製造業 >  
GoToキャンペーンが中止になってからは店頭消化率も落ち込む状況が多くなり現在ではEC販売以外はかなり良くない状況。緊急事態宣言下で、この先の状況不安定が先走り生産数量の調整も行われている。
9. <栃木県 網・網・レース・繊維粗製品製造業 >  
大手繊維関連会社の閉店等が多く、危機感も一段と増している。雇用調整助成金の期限が迫るなか、大量解雇か大幅な仕事削減に伴う給与カットをする事業所が出てくるのではないかととても心配である。
10. <愛知県 毛織物 >  
昨年より寒い冬のため防寒衣料が売れ店頭在庫一掃できるはずであったが、2回目の緊急事態宣言による外出自粛のため、販売機会ロスが増えた。
11. <和歌山県 毛皮製衣服・身回品製造 >  
昨年末からの需要増が続き、1月の売上高が前年同月に比べて増加。ネット販売関連の需要が増えているが、多品種小ロット生産への対応に苦慮し、大口需要商品の在庫数は増加傾向。
12. <鹿児島県 本場大島紬織物製造業 >  
生産反数は横這いで推移している。新型コロナウイルスの影響で催事販売ができないため、売上高が減少している。3月以降、催事の開催が可能となることを期待している。

#### 木材・木製品製造業

13. <青森県 製材業 >  
スギ低質材（パルプ材）は木質バイオマス発電に使用され、需要が年々増加し、低質材の争奪が激しい。そのため木質バイオマス用材を扱っている製材所は、コロナ禍にあっても操業は順調といえる。
14. <福島県 外材輸入業 >  
北欧材・北米材共に品薄が続いており、先高になっている。そのため、値段を上げてはいるが、今後も上げ基調は続きそうどこまで値上げができるのかが今後の問題。
15. <神奈川県 家具 >  
国内中小業者の中でも、家具の出番と前向きに考え、テレワーク用の家具などや飛沫防止スクリーンなど新しい需要に創意をこらす業者も一部に登場してきている。
16. <京都府 製材業・木製品製造業 >  
前回の緊急事態宣言時は受注残があったためすぐに仕事は止まらなかったが、今回は全体の着工が少ない状態で緊急事態宣言が発出されたため、新規着工がほぼ止まったような感じがする。
17. <奈良県 製材 >

原木不足、外材の輸入減少などで、国産材の需要が高まっているが、住宅需要が少ないため動きは鈍い。プレカットの需要は2月までは忙しいがその先は不透明である。

18. <香川県 家具>

家具業界は全般的に巣ごもり需要もあってやや好調。だが、製販共に二極化が進んでおり、先行きが不透明である。ニューノーマルの生活様式における開発力・提案力が必須課題である。

### 紙・紙加工品製造業

19. <群馬県 紙製容器製造業>

売上は前年並みには戻らないものの、全体的な取引内容は改善されてきている。ただ、自動車関係では下請・孫請企業の時短操業や休日増、観光地関係ではGoToキャンペーン中止が大きな影響を及ぼしている。

20. <東京都 紙製品製造業>

コロナ禍で需要が減少しているため、生産品目の内、他社と競合している商品を値下げし、売上を確保しようとする企業が目立ち始めてきた。中小企業者は警戒感を強めている。

21. <福井県 和紙工業>

昨年10月～12月のGoToトラベルでやや上向きかけていた景況が再緊急事態宣言の中、急激に悪化してしまった。毎年、年始に向けて好転する紙況であったが、大雪も重なり先が見えない状況が続いている。

22. <愛知県 段ボール>

緊急事態宣言により、土産物・ギフト関係等の引き合いが落ちている。バレンタイン商品や土産物は店頭での衝動買いも多く、こうした付加的需要は予約販売やネット販売では期待しがたいことも背景にある。

23. <愛媛県 機械すき和紙>

生活必需品である家庭紙は総じてコロナ禍の影響が比較的軽微である。トイレットペーパーの出荷はほぼ前年並みであるが、業務用は20～30%減と思われる。

24. <高知県 機械すき和紙製造業>

緊急事態宣言が主要都市に発出され、業務用商品の荷動きが少なく、県内家庭紙メーカーは厳しい状況が続く。ノベルティ用のポケットティッシュも需要減で、全般的に購買意欲が減退している。

### 印刷

25. <宮城県 印刷>

単なる印刷を受注している事業所と、ウェブ関連部門や印刷物に企画段階から受注している事業所との格差が広がりつつある。従来から求められ業態変革への市場からの要請は、加速度的に進んでいる。

26. <神奈川県 印刷>

新年賀詞交歓会を開催する予定だったが、緊急事態宣言が発出されたので、開催中止とした。今後は地域密着産業としての強みを発揮してお客様に寄り添い、力を合わせてこの難局を乗り切っていきたい。

27. <兵庫県 印刷>

再度の緊急事態宣言発令により、イベントの中止、人の移動制約が増え、特に商業印刷系印刷会社への影響が大きかった。Withコロナ・ニューノーマルといった価値観の変化に備える必要がある。

28. <広島県 出版・印刷・同関連>

このような時だからこそ、何が出来るかを考える好機と捉えたい。コロナ禍で、会社にいながら著名な方のセミナーをオンラインで受講出来る機会が増えた。IT化が急速に進展していることを実感している。

29. <佐賀県 印刷・同関連業印刷>

年度末、春先のイベントや催事が中止や延期になり、商業印刷物のチラシやDM、リーフレットの受注の落ち込みが目立つ。雇用調整助成金を活用している組合企業も多く、3月以降の経営予測に不安を抱える。

30. <宮崎県 印刷・同関連業>

昨年夏から、業界全体の需要が減少している。同時に稼働率も下がっている。年度末の受注が昨年同様であることを期待したい。この状態が続けば、雇用維持も困難になるとと思われる。

### 化学・ゴム

31. <群馬県 ゴム製品製造業>

半導体不足による自動車減産に伴い、受注した自動車向け部品の仕事のキャンセルが出始めている。

32. <東京都 ゴム製品製造業>

昨年10月から12月までは回復基調であったが、今年に入り半導体不足から一部の自動車関連の受注が落ち込み始めた。休業を増やさないといけない状況がまた始まっている。

33. <岐阜県 プラスチック>

自動車関連は前年同月比で8割ほど戻っているが、車載半導体不足の懸念がある。外食関連は新型コロナウイルス第3波の影響がある様子。電子材料関連は引続き堅調に推移している。

34. <島根県 プラスチック製品製造>

1月も引き続き堅調な回復となった。急激な増産が多く、設備、人員ともに負荷オーバーとなっている状況。樹脂部品の量産手配については堅調だが、金型更新や新製品への投資については停滞している。

35. <岡山県 ゴム>

業界的には大きな打撃から回復しつつあったが、今年はまだその影響から逃れられない。世界的な半導体不足、コンテナ輸送の混乱に加え、市況の上昇により原料価格が上昇し、業況下押し圧力が出てきている。

36. < 広島県 工業用ゴム製品 >

自動車業界は昨年秋口より生産が急回復していたが、本年1月より世界的な半導体不足により生産調整が始まっている。自動車メーカーのみならず1次、2次の部品メーカーにも大きな影響を与えつつある。

**窯業・土石製品製造業**

37. < 群馬県 セメント・同製品製造業 >

景気の悪化に伴い民間需要は減少しているが、災害復旧工事や広域自動車道の整備等の公共事業が下支えとなっている。

38. < 神奈川県 砕石 >

工事案件のスケジュールにより、出荷は地域により濃淡あり。建売など建築関連はコロナウイルスの影響が浸透しており停滞。運転手等も人材不足も解消されておらず、先行きに目詰まり感もある。

39. < 山口県 石工品製造業 >

年明けの強い寒波により設備が破損し、部品の供給に時間がかかり操業できない組合員がある。移動時や現場に積雪があり作業が出来ない状態が続いた。

40. < 徳島県 生コンクリート >

コロナ禍による財源問題が懸念される中、次年度以降の公共工事の予算減少が現実的になってきた感がある。更に頭を悩ますのが従業員の高齢化による今後の人材不足の懸念やプラントの経年劣化等である。

41. < 佐賀県 窯業・土石製品製造業 >

緊急事態宣言の影響もあり、ホテル・旅館、外食産業等の動きがあまりなく、業務用食器の注文キャンセルが発生している。その一方で、中国輸出商品やふるさと納税の商品の動きは衰えていない。

42. < 熊本県 コンクリート製品製造業 >

新型コロナウイルス終息を見据え業界として製品の適正価格による販売促進の準備を各組合員が行っている。

**鉄鋼・金属製造業**

43. < 北海道 鋳鉄铸件 >

水道関連は冬季の閑散期入りで前年並み。海外向け建設機械関連は10%ダウン、一般・産業機械関連は5%ダウンした。自動車向けは順調。

44. < 青森県 鉄鋼製造業 >

依然として受注価格は厳しく、鋼材価格の値上げの話もあり、商社からの指値は低く、今後も受注価格への影響に注意が必要だ。適正価格での受注を心がけるよう、組合員同士連携を強化していく必要がある。

45. < 福島県 鉄構工業 >

鋼材、副資材の単価がさらに上昇。細かい仕事が多くなり、工期が遅れて出荷ができず、売上も上がらない。請負単価も下降傾向。新型コロナウイルスの影響がこれから本格化する見込み。

46. < 石川県 一般産業用機械・装置製造業 >

部品納期の長期化に懸念。半導体関連が忙しくなっている影響で直動部品（ボールスクリューなど）の納期が延びつつある。また、今後電気関連部品でも半導体の品不足による影響が発生するか注視している。

47. < 香川県 建設用金属 >

受注競争も激化する中、鋼材費の高騰・現場経費の高止まりもあり、単価維持に努めねばならず、厳しくなる状況下にある。

48. < 熊本県 異業種 >

新型コロナウイルスの影響で厳しい状況ではあるが、昨年秋ごろから建設関連を中心に持ち直しの傾向が見られる。業種や企業によってバラツキが生じており、全般的な回復基調とは言えない状況である。

**一般機器製造業**

49. < 埼玉県 一般機械機器製造業 >

緊急事態宣言が3月まで延長されたが、当組合員には直接的な影響はみられない。ほとんどの企業ではテレワーク等による在宅勤務の対応が難しく、時短対応も困難な状況である。

50. < 富山県 非金属用金型製造業 >

好調を継続している企業もあるが、多くは昨年後半からの回復傾向に陰りが見え始め、同じ業界内でも新型コロナウイルスの影響が異なり、判断が大きく二分化しつつある。

51. < 福井県 機械工業 >

自動車の生産の回復とスマートフォン、PC、タブレットなどのIT関連の電子部品が好調であり、リモートワークへの移行に伴う通信機器需要に対応したサーバーといったプラス要素に後押しされている。

52. < 長野県 一般機械器具製造 >

底は越えたという感触のある事業所は増えているが、休業を止めるほどの生産量回復に至っていない。半導体需要が旺盛であり、それに関連して回復基調の産業が多いものの移動制限が足を引っ張っている。

53. < 兵庫県 一般機器製造業 >

プラント品は、引き続き流通業向けEコマース関連物流倉庫や、飲料、食品、日用品業界向けの受注・売上が好調であり、全体では増収増益で着地する見込みである。

54. < 奈良県 機械 >

機械部品関連は1~2月が特に厳しい状況。車部品は比較的安定していたが、半導体不足による減産影響から、新車種の部品向けの開発・技術力がない製缶・板金・機械加工下請企業は苦しい状況になっている。

### 電気機器製造業

55. < 山梨県 電気機械器具製造業 >

製造業は忙しい業種（半導体製造・車関係）がある一方、航空機製造関係は、サプライヤー契約を切られ、仕事自体がなくなってしまう。これからの見通しなど考えられない状況である。

56. < 長野県 電子機械器具製造業 >

自動車部品関連は電気自動車化が加速する予想があり、下請け中小企業が多いので今後の業種転換が迫られる。

57. < 愛知県 配電盤 >

新型コロナウイルス第3波で回復しかけた経営環境が一転し、悪化した。設備投資が減少している影響がこの業界にも出てきている。

58. < 京都府 電機機械器具製造業 >

コロナ禍のなかビジネス様式に大きな変化があり、リモート会議等のITリテラシーを高めるべく組合組織で連携する活動を始めた。

59. < 広島県 電気機械器具 >

今月の売上は、前月比変化なし、前年同月比5%減少となった。中国向けを中心に海外向けの受注量が増加しているが、業績回復には時間が必要である。

60. < 福岡県 電気機械器具製造業 >

外国人技能実習生の受入れに関しては、12/28より入国禁止となり再度受入れが不可能となった。入国再開の際には14日間の自主隔離を県の助成を活用し実施したい。

### 輸送用機器製造業

61. < 茨城県 自動車部品 >

売上は幾分回復基調にあるものの、元に戻るには相当の時間がかかりそうである。今後は経営健全化に向けたサプライチェーンの再構築が必要と思われる。

62. < 群馬県 自動車・同附属品製造業 >

世界的な半導体不足を受けて、地元自動車メーカーが1万台の減産見込みとなった。今後も減産が続く見通しで、下請企業も生産調整や雇用調整助成金の再申請など、対応に追われている。

63. < 愛知県 輸送機器 >

緊急事態宣言が発出され、輸出受注の落ち込みやコスト高で低水準が続いている。車関連業者は現場力を一層強化し改善努力を行っている。

64. < 三重県 輸送機器 >

全体的には引き続き繁忙な状況で、残業・休出で対応している。その一方で一部のメーカー、車種では半導体不足による減産、休業が予定されており、今後の影響が懸念される。

65. < 島根県 自動車部分品・付属品製造業 >

自動車業界においては半導体不足による生産調整に入っており、影響はしばらく続くと思われる。徐々に回復し始めているが、海外の状況はまだ何とも言えない状況と思われ、注視していく必要がある。

66. < 大分県 造船 >

造船業界では、中国・韓国の企業と競合している日本企業が厳しい状況に置かれている。また、新型コロナウイルスの影響で営業活動を自粛せざるを得ず、厳しさに拍車をかけている。

### その他の製造業

67. < 秋田県 漆器 >

市の支援事業では、市内への観光客に特産品の中からプレゼントする企画があり、川連漆器も取り扱いがあるので、顧客の新規開拓を期待している。

68. < 千葉県 土砂採取 >

業界全体が恩恵を被ったわけではないが、数年前から東京五輪開催に合わせ、都心に多数のホテルやオフィスビル、タワーマンションが建設されたが、その需要のピークは過ぎた感がある。

69. < 東京都 スポーツ用品製造業 >

アウトドア市場は3密を回避できる比較的安全なレジャーであるため、コロナ禍の中においても堅調な伸びを示している。他業種からの新規参入もあり、市場の押し上げも期待される。

70. < 石川県 漆器製造業 >

展示販売会は開催されるようになってきたが、販売につながる来客が少ない。観光はGoToキャンペーン停止や首都圏の緊急事態宣言の影響もあり、観光バスは全く来ない状況で、前年比で2~3割ほどである。

71. < 愛知県 節句人形 >

年明けからの需要は例年並みで、我々組合員のもとへも追加の発注が増えましたが、見本市をまともに開催できなかったために追加の見込み数を準備出来ない組合員が多く需要にこたえきれない状況。

72. < 奈良県 毛皮革 >

令和2年度は業界全体が新型コロナウイルスの影響から、地元における展示即売会が開催されないことにより、販売する機会が減少している。販売機会の確保が課題となっている。

## 《非製造業》

### 卸売業

73. <北海道 菓子 >  
スーパーやドラッグストアと取引の多い菓子卸の業績は順調だが、外出自粛や節約志向の影響で観光関連業界との取引が多い企業は厳しい経営が続いている。
74. <宮城県 再生資源 >  
古紙は中国の禁輸で弱含むかと思われたが、アジア各国での需要があり、日本国内の市中発生量の減少も加わり、むしろ不足感も出始めている。
75. <千葉県 医薬品卸売 >  
新型コロナウイルスの感染が収束しない状況にあり、医療機関は逼迫している。季節性インフルエンザは前年と比較し、流行しないため、治療薬の販売額が減少したことが大きい。
76. <東京都 美容用品卸売業 >  
上部団体とリモート会議の予行を行った。臨場感に欠け、予想外に議論に時間がかかった。操作等に専門家の力を借りないと難しいと感じている。
77. <滋賀県 食料品市場 >  
多くの品目が豊作傾向で平年の半値となる中、馬鈴薯は高値。果実はみかんが前年比で出荷量が多いものの荷動きは鈍かった。水産では、鮮魚は入荷順調、冷凍は強含みで、加工品・塩干は入荷安定している。
78. <広島県 卸売業（電設資材） >  
我々電設業界は、コロナ禍の影響による大きな売上減少には至っていない中、官公庁案件やリニューアル案件の見積件数は前年比増加となっており、今後に期待感がある。

### 小売業

79. <北海道 鮮魚 >  
例年に比べ降雪が多く、除雪が追い付かず臨時休業した日があったほか、道路事情の悪さも重なり来客数は昨年より落ち込んだ。新型コロナウイルスの影響もあり売上は昨年比減少となった。
80. <岩手県 食肉小売業 >  
食肉店売上は巣ごもり需要による売上増、一方卸売部門はキャンペーン中止や卸取扱い構成比の大きい所ほど落ち込んだ。豚枝肉市場は末端の販売不振から大きく値を下げている。
81. <千葉県 小売 >  
年末に感染防止拡大が進んだが、飲食店以外の支援策がなく対応に苦慮した。
82. <新潟県 化粧品小売業 >  
1月は大雪の影響も大きかった。雪で外出できない方が多く、コロナ禍もありダブルで厳しい状況だった。メイク商品は低調が続いている。
83. <石川県 男子・婦人・子供服小売業 >  
単なるモノ離れではなく、消費者自身が山ほどある情報と商品の中から自分に合った自分らしさを表現できる生活を始めた。ネットの進展により時間を越えた「消費維新」と言える大変化が起きている。
84. <三重県 自転車 >  
世界的な自転車に対する需要が高まっており、今年の入学シーズンに対する在庫確保が急務となっている。コロナ禍の難局を乗り越えていけば業界は少しは明るい見通しが開けるかもしれない。

### 商店街

85. <岩手県 商店街 >  
新型コロナウイルス感染予防のため、1月2日恒例の振舞行事は中止、百貨店の福袋も予約制となり、例年のような賑わいの無い初売りとなった。
86. <宮城県 商店街 >  
飲食店は、正月明けから在宅ワークやテレワークが増えたため、ランチタイムの需要が拡大している。店頭での弁当販売がなくなっていたが、販売を再開させている。
87. <山形県 商店街 >  
前回の緊急事態宣言時よりも数段厳しい状況に陥っており、当時に比べて支援策も出てこない。当商店街近隣では飲食店の閉店が目立ち始めており不安感は尽きない。
88. <群馬県 商店街 >  
取引先である飲食店、旅館などでの需要減が著しい。コロナ禍で失速しているのは飲食店だけでなく、納入業者も大変な思いをしている。
89. <滋賀県 商店街 >  
1月は毎年売上も落ち込むが、12月に販売した商店街のプレミアム商品券や商店街連盟のプレミアム商品券の期限が1月末までであったので、ある程度潤った店もあった。
90. <愛媛県 商店街 >

経営者の高齢化も増々進み、新型コロナウイルスの収束も未だ見えない中、営業時間を短縮する店舗が多くなりそうだ。

## サービス業

91. <山形県 美容業 >  
新型コロナウイルスにより固定客のみ受入れ、フリー客を自粛するところが多くなっている。成人式の開催時期の変更で繁忙期を失い、関係費用を減らすため組合を脱退する店も多くなっている。
92. <福島県 クリーニング >  
外出自粛により、消費者の外出着の着用機会が減り、クリーニング店の需要も減少した。売上が3~4割減少したところが多く、持続化給付金の対象外のところが多い。
93. <東京都 クリーニング業 >  
緊急事態宣言の発令をきっかけとした、外出自粛、飲食店の時短営業、テレワークにより、急激にクリーニング品が出なくなり、大変厳しい状況に追い込まれている。
94. <石川県 旅館、ホテル >  
12月末日よりキャンセルが大量に発生し、施設によっては、販売客室ゼロの日が多く、今月末あたりから再び休業する施設が現れている。3月までに廃業を含めた今後の経営方針を決める施設がある。
95. <岐阜県 旅館、ホテル >  
緊急事態宣言の再発令が影響し、例年2月~3月にかけて活発となる、春節に伴うインバウンド需要や、国内での卒業旅行需要などが見込めないため、益々厳しい状態に陥っていくことが懸念される。
96. <和歌山県 旅館・ホテル >  
GoToトラベルの全国的な一時停止、またGoToトラベル対象外の旅行・宴会の開催もコロナ禍においては難しく、県下の旅館・ホテルは70~90%の売上減の状態となっている。休館、閉館する施設も出ている。

## 建設業

97. <北海道 電気工事 >  
電気工事業は他の業種より新型コロナウイルスの影響は少ないが、受注量の減少、人員確保や人材育成、安全意識や技術力の向上など、変化に対応しながら、持続可能な組織作りを行っていく必要があると考えている。
98. <宮城県 建設 >  
「減災・防災、国土強靱化のための3か年緊急対策」後の令和3年度からの5年間の加速化対策15兆円が第3次補正予算に組み込まれたことは被災地宮城の発展に向けた復興の後押しとして期待が高まっている。
99. <静岡県 職別工事業 >  
中国・韓国の景気回復と、自動車業界の景気が回復してきたことから、昨年末からスクラップ価格が高騰している。それにより資材価格が上昇し、利益が圧迫されている。
100. <山口県 管工事業 >  
2月末まで年度当初の受注工事に組合員で協力し忙しく仕事をしている。かねてからの高齢化、人材不足の中、新型コロナウイルス感染者が未だに増加しており、先行きに不安を感じている。
101. <愛媛県 基礎工事 >  
1月は鋼材価格が急激に高騰し、原材料費のUP分を請け負い価格に転嫁することができず利益を圧迫した。他の原材料も値上がりの傾向をみせており、今後の価格の変動に注意が必要。
102. <宮崎県 管工事業 >  
市からの業務委託工事は順調に推移しているが、配水管布設工事等の公共工事発注額(組合員受注分)は、12月末実績で前年比14%減少したことにより、組合資材供給事業売上が大幅減収となっている。

## 運輸業

103. <静岡県 道路貨物運送業 >  
例年1~2月は荷動きが低調であるため、そこに荷物情報の減少が加わることで、輸送トラックの空車が増加し、運賃が低下傾向となるなど悪循環が続いている。
104. <兵庫県 道路貨物運送業 >  
稼働日数の少ない1月は、例年組合員同士の取引が最も減少する月ではあるが、会員数が少ない時代を含めても過去、最も少ない取引高となった。
105. <和歌山県 一般貨物自動車運送業 >  
新型コロナウイルスの長期化で企業間の荷動きが低迷し、運賃に値下げ圧力がかかり適正水準にはほど遠い。固定費の相対的なコスト増加や労働時間短縮の対応等により、経営環境が一段と厳しくなっている。
106. <鳥取県 貨物運送 >  
1月の輸送量が減少するのは年末の反動と年末年始の休業による稼働日の減少が原因だが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大での緊急事態宣言を受け、主に関西圏からの往路荷物が激減した。
107. <岡山県 バス >  
GoToトラベル一時停止の延長および11都道府県への緊急事態宣言の発表以降、1月中の旅行キャンセルが相次ぎ、例年好評の初詣プランは軒並み中止となった。
108. <宮崎県 軽貨物運送業 >

1月は全体的に売上が低調な時期だが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いている関係で荷動きが低調に推移しており、回復の兆しが見えないのが現状である。燃料関係は若干の安値で推移している。

### その他の非製造業

109. < 宮 城 県 不動産 >  
新入学の専門学校生や法人契約の新入社員向け賃貸物件の引き合いが多く、例年通りの営業となっている。ここ数年で登場したインターネットを利用した重要事項説明もコロナ禍で頻繁に行われている。
110. < 神 奈 川 県 歯科技工 >  
第3次補正予算で、感染防止対策への支援として歯科医療機関とともに歯科保健診療の給付を支える歯科技工所が含まれていない。
111. < 兵 庫 県 ディ스플레이業 >  
緊急事態宣言の期間延長を受け、出来る事を確実に行うと同時に先を見据えての準備を怠らないことにつ  
きる。新型コロナウイルス収束後の動きが業界の中でも明暗が出ると予測し対策を検討している。
112. < 岡 山 県 信用組合 >  
資金繰りについては融資により問題はないが、影響が続くことにより更なる悪化が懸念される。3月までコ  
ロナ対策融資が延長され2,000万円増枠になり、今後も融資相談対応を積極的に行い支援していく。
113. < 広 島 県 不動産業 >  
不動産市場については、コロナ禍の影響による先行き不透明感はあるものの、低金利政策等により戸建て  
需要は堅調に推移している。一方、分譲マンション販売については、低調になってきている。
114. < 福 岡 県 貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関 >  
昨年は廃業が4件あった。今年も年初から緊急事態宣言が発令される中、廃業についての相談が既に2件  
あった。新型コロナウイルスを機に廃業へと舵を切る業者が増えるのではと懸念される。